



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

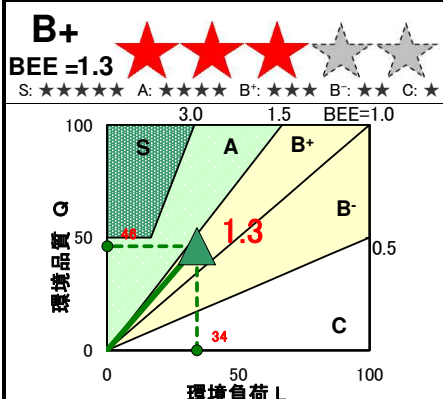
1-1 建物概要

建物名称	モトヤマ本社新築工事
建設地	北区天満1丁目
建築用途	事務所
建築主	(株)モトヤマ
設計者	(株)安井建築設計事務所
敷地面積	437.31 m ²
建築面積	306.18 m ²
延床面積	1,265.34 m ²
構造/階数	S造 / 地上5階
完了年(予定)	2023年8月

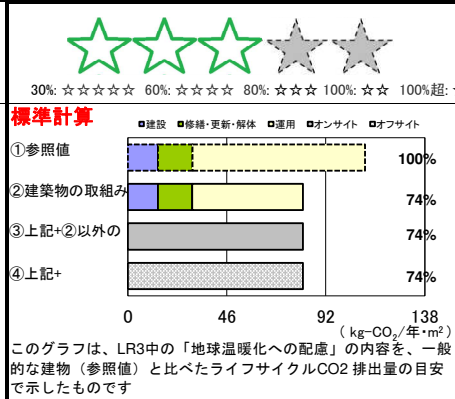
1-2 外観



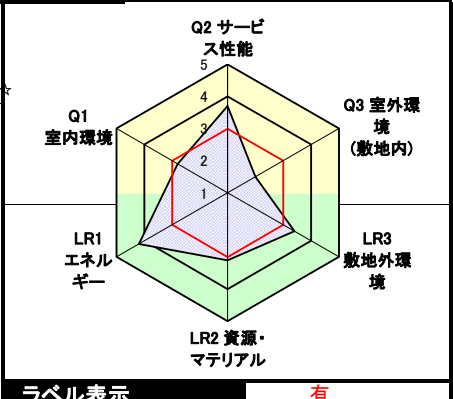
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



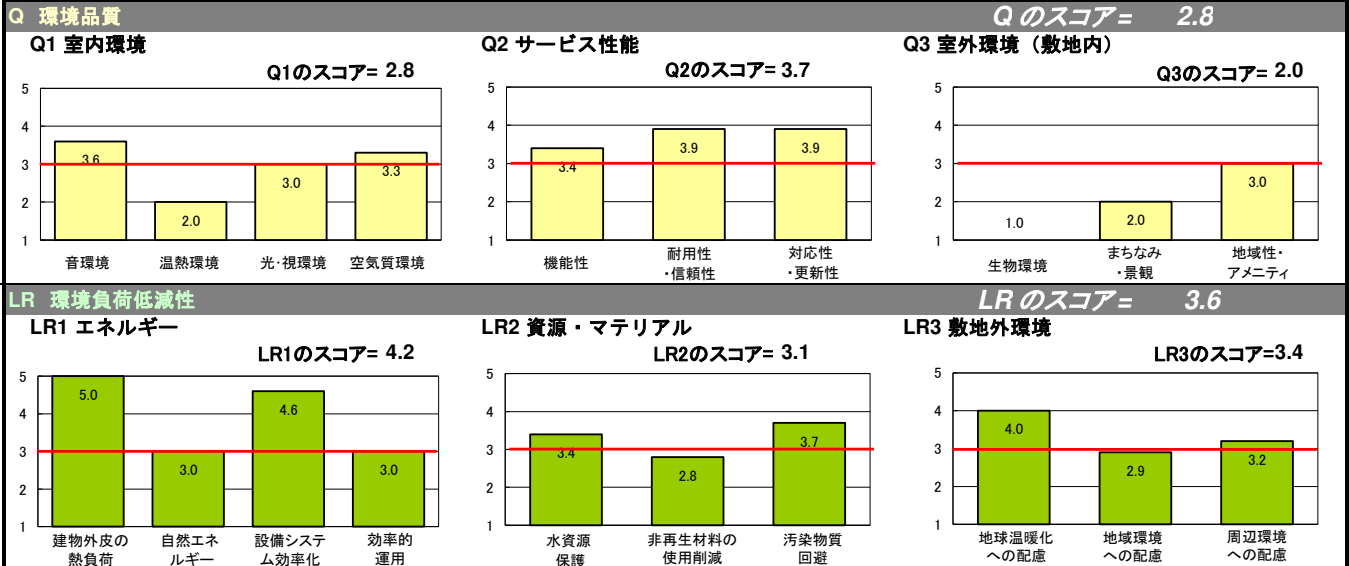
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 堅実な企業イメージをガラスとタイルで体现した。本社ビルの象徴となるように北及び東面にはガラスを採用し、小さな建物が多い天満の町並みとの調和を図るために、縦に分割した建物東側のボリュームをタイル貼とした。		その他 特になし。
Q1 室内環境 床及び天井を吸音性の高い素材仕上げとしたほか、断熱性の高い外壁仕様とすることで、執務室の快適性を確保する計画とした。	Q2 サービス性能 執務室天井高さ2.7mを確保、北面・東面に窓を確保、4階にテラスを確保するなどして、明るく解放感のある計画とした。また、構造体は建築基準法の1.25倍以上の耐震性能とすることで安全性を確保した。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 省水型便器を導入したほか、内装材と設備が錯綜せず用意に取り外すことのできる計画とすることで、環境に配慮した計画を目指した。	LR3 敷地外環境 大気汚染物質を全く生じない計画としたほか、光害の対策を十分に行うことで周辺敷地に配慮した計画とした。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.3

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮
4.0	LCCO2の抑制
配慮事項	LCCO2の抑制を行った。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出
1.0	外構緑化指数=13.26%
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上
3.0	建築設備による排熱方法の配慮
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善
2.0	特になし
配慮事項	外構緑化を行ったほか、建築設備に伴う排熱を建築物の高い位置から行うことで、温熱環境への配慮を行った。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制
5.0	建築外装材等の配慮
配慮事項	断熱性に優れた建築外装を採用し、断熱性の向上を目指した。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化
4.6	節水型便器の採用
配慮事項	節水型便器の採用により、洗浄水量を低減し、水資源の保護に寄与している。

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能 住宅部分 (品確法等級) 対象外 (相当) 非住宅部分[BPI][BEIm] 0.78

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEIm] 0.64 住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEIm] 0.64